

校 歌

♩ = 104 ca
mf

そらひろびろと あけそめて
しぜんのだとし いまのよにつた
えとうまじ かっしかのまこ
とのみちを ひらくとき
りかくおんの ひかりあり かまがやにし
こうさかえあれ

cresc- f
Piu f
ff

校 歌

作詞 文賀初太
作曲 芥川也寸志

空いふびろと明けそめて
自然の啓示今の世に
仕えて美し甚飾野
真理の道を拓くとき
架花に文達の光りあり
録ヶ各石高原之ふれ

八潮路遠く雲に消え
蹄の音の小倉原
音と偲ぶ若人の
自律の英気やしないて
雲峰宮士と仰ぶたり
録ヶ各石高原之ふれ

つみどり映す 五弁花の
清し朝露を呼ぶ
雄々しき蜂の いそみで
玉しいま 高きとき
本東新たに 展かれん
録ヶ各石高 原之ふれ